

開催日時：令和元年7月11日（木）15：00～

開催場所：日立市役所 503・504 会議室

出席委員数：38名中32名

## I 委嘱状交付式

### 1 開 式

### 2 委嘱状交付

### 3 市長挨拶

- 令和元年度は第1期総合戦略の最終年度となっていることから、これまでの地方創生の成果等を検証するとともに、国の動向等を踏まえながら第2期総合戦略の策定を進めている。
- 国の方針において、総合戦略の策定に当たっては、専門的見地からの幅広い御意見をお伺いするため、産学官勤労言士等の各界の有識者で構成する組織で審議することが重要であることから、日立市においても有識者会議を設置することとした。
- 地方創生の国の状況は、東京の一極集中に歯止めがかからず、全国の自治体においても、人口減少が続くなど厳しい状態が続いている。
- 日立市においては、子育てに関する施策など、安心して住み続けられる環境づくりに取り組んでいるが、進学や就職、住宅の住み替えなどを理由に、東京圏や近隣自治体への転出超過が続いている。特に20代、30代女性の転出超過が多い。
- 地方創生は「ひたらしさ」をいかにアピールできるかが重要と考えている。他にはない日立市の魅力を市民だけでなく、市外に住んでいる方にも訴えていき、多くの方に訪れていただくことで、まちの活性化に寄与していきたいと考えている。
- 第2期総合戦略は、選択と集中という観点から、「継続を力にする」という姿勢で、「若者・女性」にスポットを当てた取組に力を入れていきたい。
- 委員の皆様には日立市の新たな活力を作り出すために御協力いただきたい。

### 4 委員紹介（出席者32名紹介）

### 5 閉 式

## Ⅱ 有識者会議

### 1 開 会

### 2 日立市地域創生有識者会議設置要綱について

○事務局より日立市地域創生有識者会議設置要綱について説明し、了承された。

### 3 会長の選出について

○会長に茨城キリスト教大学副学長 池内耕作委員が選出された。

### 4 会長挨拶

○第1期戦略策定時よりも若い委員の方が増えたので、若い方に意見をたくさん出していただきたい。また、委員の皆様から出た多くのアイデア中から、1つでも多く具体化していただきたい。

### 5 副会長の選出について

○副会長に日立市コミュニティ推進協議会会長 石川諒一委員が選出された。

### 6 議 事

#### (1) 地域創生の概要等について

#### (2) 国の動向について

○事務局より、(資料1)、(資料2)に基づき、地方創生の概要及び国の動向(まち・ひと・しごと創生基本方針2019)の概要について説明した。

→委員の意見なし。

#### (3) 日立市における人口動態について

#### (4) 「第2期日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定方針(案)について

○事務局より、(資料3)に基づき、日立市の人口推移及び課題の整理と今後の方向性について説明した。

○また、(資料4)に基づき、「第2期日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定の考え方、今後のスケジュール等について説明した。

### 【質 疑】

○委員： 水戸市、つくば市、ひたちなか市の出生率を確認したい。また、アンケートについては、市内の高校や大学等に実施するだけでなく、市外の方が日立市をどう思っているかということも把握すべきと考える。

→事務局： 水戸市、つくば市、ひたちなか市との出生率については、次回以降に資料として提示したい。また、アンケートについては、日立市内の公立、私立の高校3年生に実施する予定であるが、対象の生徒の中には、日立市外から通学している生

徒もいるので、そのデータも活かしたいと考える。また、高校生アンケートだけでなく、市外の皆様の声を聞くという機会も捉えて実施していきたいと考えている。

○会 長： 日立市の第1期総合戦略の大きなテーマとして、2040年に人口15万人維持としている。人口維持のためには、生活の質を上げるためのQOL（※）も大事である。人口が減ってもQOLが高まればいいのではないかと考える。

※QOL…Quality of Life：生活の質

例えば、人口が減少しても住民の可処分所得が増える、健康寿命が伸びるということもある。そういった点を踏まえると、総合戦略の組み立て方そのものが変わってくるのではないかと考える。

人口維持は「目的」ではなく、「手段」であって、日立市の人口が減少しても幸せだと感じる人が増えることが目標ではないかと考える。人口減少の抑制、人口維持を目的とする現状の総合戦略の構造でよいかについて、皆様に御意見を伺いたい。人口減少が抑制されても、QOLが下がってしまっただけでは意味がないと考えるがいかがか。

→事務局： 第1期総合戦略策定時に、国からは、日本の人口が1億人を切るという推計が出ている現状を捉えて、人口ビジョン、人口推計を出すようにという流れがあった。御意見いただいたような、QOLを考えた総合戦略の作り方が否定されているわけではないと推測する。

○委 員： 事前に配布された資料を拝見したが、意見として何を求められているのか分からず、十分な準備ができなかった。今後は、資料と合わせて、会議で何を諮るのかを提示していただきたい。

→事務局： 日立市における人口の現状、課題について、事前に共通理解を図るという目的から会議前に資料を送付させていただいた。

次回以降の会議については、資料送付とともに議題についてもお示しする。

○会 長： 総合戦略の搭載事業についても参考資料として出していただければありがたい。事業の取捨選択も必要と思う。

○委 員： 第1期総合戦略の検証を行い、そこで足りないものを次期総合戦略に反映していくことが必要ではないかと考える。

○会 長： 第1期の評価ではKPI（※）の7割程度は目標を達成している。一方で、人口減少を抑制するという大目標が改善されていないところに課題があると思う。施策ごとのKPIの成果はあがっているが、大目標が改善していないので、総合戦略の構造そのものの見直しが必要と考える。

※KPI…Key Performance Indicator：重要業績評価指標

○委 員： 総合戦略を策定し、それを誰が実行していくのか、市民が協力しなければ計画は進まないと思う。国の基本方針にも民間との協働と記載されているが、どういった枠組みで取り組んでいくのかについても整理が必要であると思う。

○委 員： 人口減少は様々な要因があるが、コンパクトシティ化を進めるなど、最終的に、市民にとって住みやすい場所であればよいと考える。

○委 員： 大学生は就職を機に東京に出てしまうという話をよく聞く。要因は、日立市に働きたいと思う仕事がないと聞くことが多い。そこを深掘りしていくことが若者

の転出抑制について思案する上で重要であると考えてる。

- 委員： 日立市のまちづくりに、若者がもっとかかわるべきと考える。まちなかで行われる様々なイベントの企画に、若者を取り込んだ方がよいと感じる。
- 委員： 市で発信している情報が若い世代に届きにくいと感じている。市報を見ている人は、年齢層が上の年代の方で、若者は紙媒体の広報を見ていない。ホームページを見ても書いてあることが難しくわからないという話を聞く。現在の若者の情報のやり取りはLINEが主流であり、ニーズを捉えた情報発信の強化をしていただきたいと思う。
- 会長： 市では情報発信の努力をしているが、届いていないところもある。若者に使われている情報ツールでの情報発信についても検討していただきたい。

## 7 その他

### (1) 次回の日程について

○事務局より次回日程は8月26日(月)午後3時からの予定である旨報告した。

### (2) アンケートの依頼について

○事務局より各委員及び委員が所属する職場の方々へのアンケートを依頼した。

## 8 閉 会

以 上